



## 平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

平成30年5月15日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 衛  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理室長 (氏名) 佐藤 将夫 TEL 03(5217)7811  
 定時株主総会開催予定日 平成30年6月27日 配当支払開始予定日 -  
 有価証券報告書提出予定日 平成30年6月28日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期の連結業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	815	1.3	4	-	5	-	△320	-
29年3月期	804	△35.8	△49	-	△42	-	△255	-

(注) 包括利益 30年3月期 △320百万円 (-%) 29年3月期 △255百万円 (-%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
30年3月期	△191.95	-	△143.3	1.1	0.5
29年3月期	△153.10	-	△49.7	△5.2	△6.1

(参考) 持分法投資損益 30年3月期 -百万円 29年3月期 -百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期	387	73	15.8	36.71
29年3月期	662	386	58.3	231.65

(参考) 自己資本 30年3月期 61百万円 29年3月期 386百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
30年3月期	17	△56	0	74
29年3月期	△24	△0	25	112

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
29年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
30年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-
31年3月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00	-	-	-

### 3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	461	10.7	12	114.2	13	100.3	8	-	5.16
通期	985	20.9	46	953.3	47	745.1	34	-	20.81

※ 注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有  
 新規 2社（社名） イメージ情報システム株式会社  
 エクストップエスオー株式会社（現株式会社アイデポルテ）  
 除外 1社

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無  
 ② ①以外の会計方針の変更：無  
 ③ 会計上の見積りの変更：無  
 ④ 修正再表示：無

- (3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期	1,780,000株	29年3月期	1,780,000株
② 期末自己株式数	30年3月期	113,729株	29年3月期	113,629株
③ 期中平均株式数	30年3月期	1,668,634株	29年3月期	1,666,371株

(参考) 個別業績の概要

1. 平成30年3月期の個別業績（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	489	△33.4	△15	—	△4	—	△319	—
29年3月期	734	△32.7	△49	—	△39	—	△251	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期	△191.59	—
29年3月期	△150.98	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
30年3月期	257	54	54	54	19.9	30.71	30.71	
29年3月期	625	375	375	375	60.0	225.28	225.28	

(参考) 自己資本 30年3月期 51百万円 29年3月期 375百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法)

当社は、平成30年6月14日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明会資料については、説明会開催後速やかに当社Webサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	7
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(連結の範囲の重要な変更) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	15
4. 個別財務諸表 .....	16
(1) 貸借対照表 .....	16
(2) 損益計算書 .....	18
(3) 株主資本等変動計算書 .....	19

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当期の経営成績の概況

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、企業の業績確保、拡大に向けてIT投資に積極的な取り組みがみられますが、利益率の低迷は依然続いております。

当社はグループの多角化に取り組むため、持株会社への移行を行い、機動的な事業再編や柔軟性の確保ならびに各事業の責任と権限を明確にすることで、当社グループ全体の企業価値の最大化を目指し、平成29年10月2日に新設会社分割を行いイメージ情報システム株式会社を新設し、加えて平成29年10月20日にスポーツ全体のIT化促進を主な事業とするエクストップエスオー株式会社(現株式会社アイデポルテ)の第三者割当増資を引き受け、子会社化いたしました。

このような環境の中、当連結会計年度において、グループ企業間の連携及び開発スキルの向上と外部人材リソースの活用等を実施し、売上高は815,110千円(前年同期比1.3%増)となりました。

利益面におきましては、売上原価率がやや改善し、加えて販売費及び一般管理費の圧縮に努め、営業利益は4,434千円(前年同期は営業損失49,139千円)となりました。経常利益は5,576千円(前年同期は経常損失42,632千円)となりましたが、株式会社北栄への債権に対して貸倒引当金315,125千円を特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する当期純損失は320,302千円(前年同期は親会社株主に帰属する当期純損失255,123千円)となりました。

このような状況において、当社グループは、これまで培ってまいりましたIT活用による提携企業へのコンサルティング機能をさらに高め、先進的マーケティングソリューションの提供等によるプラットフォームビジネスへの構築により、新たなサービスの創造とマーケットの開拓、さらに新たな異業種企業との提携による収益創出事業の展開を図ってまいります。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

## 〔コンサルティング/設計/構築〕

企業システムのコンサルティング及び設計、開発の業務受託等につきましては、平成29年10月20日に株式会社アイデポルテを連結子会社化したことに加え、外部人材リソースを活用した受注案件の獲得に努め、売上高は510,212千円(前期比26.8%増)、セグメント利益は31,658千円(前期比14.4%減)となりました。

## 〔運用/保守〕

企業システムの運用及び保守の業務受託につきましては、前期からの継続した受注とセキュリティ関連システムの運用商品が堅調に推移したことにより、売上高は102,413千円(前期比1.9%増)、セグメント利益は33,841千円(前期比286.4%増)となりました。

## 〔商品販売〕

商品販売につきましては、連結子会社であるヴァージンメディカル株式会社が化粧品販売事業を再開しましたが、前連結会計年度に計上した大手取引先の大型サーバの入替受注が終了したことなどにより、売上高は32,711千円(前期比74.0%減)となり、セグメント損失は1,772千円(前期はセグメント損失19,333千円)となりました。

## 〔BPO/サービス〕

BPO(業務アウトソーシング)及び決済等各種サービスの提供につきましては、継続的な取引による売上を確保し、売上高は169,772千円(前期比3.3%減)、セグメント利益は35,770千円(前期比75.5%増)となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における流動資産の残高は239,112千円(前期末比7.4%増)となりました。主な内訳は現金及び預金94,838千円、受取手形及び売掛金が104,436千円であり、受取手形及び売掛金17,568千円、短期貸付金15,645千円の増加が主な変動要因であります。

固定資産の残高は148,009千円(前期末比66.3%減)となりました。主な内訳は、長期貸付金411,662千円、長期未収入金103,895千円であり、株式会社アイデポルテの株式取得により無形固定資産の「のれん」が16,528千円増加しましたが、株式会社北栄への債権に対する貸倒引当金315,125千円の計上により減少いたしました。

これにより総資産の残高は387,122千円(前期末比41.5%減)となりました。

流動負債の残高は156,560千円(前期末比19.3%増)となりました。主な内訳は、買掛金31,768千円、1年以内返済長期借入金23,376千円、賞与引当金19,855千円であり、短期借入金30,001千円減少しましたが、1年以内返済長期借入金23,376千円増加したことが主な変動要因であります。

固定負債の残高は157,252千円(前期末比8.5%増)となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債124,138千円であり、長期借入金17,998千円増加したことが主な変動要因であります。

これにより負債の残高は313,812千円(前期末比13.6%増)となりました。

純資産の残高は73,309千円(前期末比81.0%減)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失320,302千円の計上により利益剰余金が減少したこと等によるものです。

なお、当社は、平成29年6月28日開催の第42回定時株主総会において、欠損を補填する目的で資本準備金の額の減少及び剰余金の処分について承認可決されました。その結果、当連結会計年度において、資本剰余金は506,111千円減少し利益剰余金が同額増加しております。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動により17,356千円増加、投資活動により56,073千円減少、財務活動により647千円増加しました。その結果、資金の残高は74,838千円(前期末比38,069千円減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における営業活動により、資金は17,356千円増加(前期は24,682千円減少)しました。税金等調整前当期純損失309,549千円、売上債権の増加額16,574千円により減少しましたが、貸倒引当金の増加額317,007千円により資金が増加しております。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度における投資活動により、資金は56,073千円減少(前期は148千円減少)しました。貸付金の回収による収入57,128千円がありましたが、貸付けによる支出85,000千円、定期預金の増加額20,000千円により資金が減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において、資金は647千円増加(前期は25,001千円増加)しました。借入金の返済による支出82,264千円、自己株式の取得による支出34,245千円がありましたが、借入れによる収入85,000千円、自己株式の処分による収入30,000千円により資金が増加しております。

(4) 今後の見通し

今後も引き続きグループ企業間の相乗効果と外部人材リソースの活用によるシステム構築受注拡大を図ります。事業の多角化や機動的な事業再編や柔軟性を確保することで、平成31年3月期通期において売上高985百万円(前期比20.9%増)、営業利益46百万円(前期比953.3%増)、経常利益47百万円(前期比745.1%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は34百万円(前期は親会社株主に帰属する当期純損失320百万円)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの利害関係者の多くは、国内の株主、債権者、取引先等であり、海外からの資金調達の実現性が乏しいため、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	112,907	94,838
受取手形及び売掛金	86,867	104,436
商品	375	2,912
仕掛品	447	1,881
貯蔵品	268	484
前払費用	15,777	14,205
短期貸付金	—	15,645
その他	7,713	5,601
貸倒引当金	△1,691	△892
流動資産合計	222,666	239,112
固定資産		
有形固定資産		
建物	26,914	28,414
減価償却累計額	△18,126	△20,021
建物(純額)	8,787	8,392
工具、器具及び備品	78,646	78,327
減価償却累計額	△65,949	△69,601
工具、器具及び備品(純額)	12,697	8,725
有形固定資産合計	21,484	17,117
無形固定資産		
のれん	—	16,528
ソフトウェア	9,046	8,257
無形固定資産合計	9,046	24,786
投資その他の資産		
投資有価証券	62,329	62,684
長期貸付金	399,375	411,662
長期未収入金	103,895	103,895
敷金及び保証金	27,237	25,881
破産更生債権等	6,930	9,580
その他	2,455	3,471
貸倒引当金	△193,259	△511,070
投資その他の資産合計	408,963	106,105
固定資産合計	439,493	148,009
資産合計	662,160	387,122

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,428	31,768
短期借入金	40,001	10,000
1年内返済予定の長期借入金	—	23,376
未払金	4,184	23,145
未払法人税等	3,324	10,924
賞与引当金	26,307	19,855
その他	27,961	37,490
流動負債合計	131,207	156,560
固定負債		
長期借入金	—	17,998
退職給付に係る負債	125,108	124,138
繰延税金負債	1	—
その他	19,827	15,116
固定負債合計	144,937	157,252
負債合計	276,145	313,812
純資産の部		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金	519,527	13,415
利益剰余金	△504,755	△322,674
自己株式	△95,810	△96,328
株主資本合計	386,010	61,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△289
その他の包括利益累計額合計	4	△289
新株予約権	—	2,957
非支配株主持分	—	9,178
純資産合計	386,015	73,309
負債純資産合計	662,160	387,122

## (2) 連結損益及び包括利益計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	804,286	815,110
売上原価	729,740	683,292
売上総利益	74,546	131,818
販売費及び一般管理費	123,685	127,384
営業利益又は営業損失(△)	△49,139	4,434
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,955	950
貸倒引当金戻入額	4,514	—
助成金収入	—	2,363
その他	306	661
営業外収益合計	6,776	3,975
営業外費用		
支払利息	269	686
新株予約権発行費	—	800
保険解約損	—	1,005
その他	—	341
営業外費用合計	269	2,833
経常利益又は経常損失(△)	△42,632	5,576
特別損失		
固定資産除却損	7	—
投資有価証券評価損	19,950	—
貸倒引当金繰入額	188,145	315,125
減損損失	3,549	—
特別損失合計	211,651	315,125
税金等調整前当期純損失(△)	△254,283	△309,549
法人税、住民税及び事業税	840	10,209
法人税等合計	840	10,209
当期純損失(△)	△255,123	△319,758
(内訳)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△255,123	△320,302
非支配株主に帰属する当期純利益	—	543
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	△293
その他の包括利益合計	31	△293
包括利益	△255,092	△320,052
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△255,092	△320,595
非支配株主に係る包括利益	—	543



(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自平成28年4月1日至平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	467,050	519,527	△249,631	△95,810	641,134
当期変動額					
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△255,123		△255,123
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	—	△255,123	—	△255,123
当期末残高	467,050	519,527	△504,755	△95,810	386,010

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△27	△27	—	—	641,107
当期変動額					
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△255,123
自己株式の取得					—
自己株式の処分					—
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	31	31			31
当期変動額合計	31	31	—	—	△255,092
当期末残高	4	4	—	—	386,015

当連結会計年度(自平成29年4月1日至平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	467,050	519,527	△504,755	△95,810	386,010
当期変動額					
欠損填補		△506,111	506,111		—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△320,302		△320,302
自己株式の取得				△34,245	△34,245
自己株式の処分		△3,727		33,727	30,000
自己株式処分差損の振替		3,727	△3,727		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△506,111	182,081	△517	△324,547
当期末残高	467,050	13,415	△322,674	△96,328	61,462

	その他の包括利益累計額		新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	4	4	—	—	386,015
当期変動額					
欠損填補					—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)					△320,302
自己株式の取得					△34,245
自己株式の処分					30,000
自己株式処分差損の振替					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△293	△293	2,957	9,178	11,842
当期変動額合計	△293	△293	2,957	9,178	△312,705
当期末残高	△289	△289	2,957	9,178	73,309

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純損失(△)	△254,283	△309,549
減価償却費	16,281	11,815
のれん償却額	-	1,836
減損損失	3,549	-
その他の償却額	1,836	1,836
貸倒引当金の増減額(△は減少)	168,978	317,007
賞与引当金の増減額(△は減少)	△3,150	△6,452
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,216	△970
受取利息及び受取配当金	△1,955	△950
支払利息	269	686
投資有価証券評価損益(△は益)	19,950	-
売上債権の増減額(△は増加)	129,817	△16,574
たな卸資産の増減額(△は増加)	△223	△4,186
仕入債務の増減額(△は減少)	△64,573	2,340
長期未収入金の増減額(△は増加)	△25,456	-
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△1,105	△2,126
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△17,632	26,517
その他	11,658	△9,304
小計	△5,822	11,925
利息及び配当金の受取額	996	950
利息の支払額	△269	△686
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△19,586	5,166
営業活動によるキャッシュ・フロー	△24,682	17,356
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	10,000	△20,000
有形固定資産の取得による支出	△1,945	△3,636
無形固定資産の取得による支出	△3,965	△3,032
投資有価証券の取得による支出	△633	△651
貸付けによる支出	△144,000	△85,000
貸付金の回収による収入	142,770	57,128
その他	△2,374	△881
投資活動によるキャッシュ・フロー	△148	△56,073
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
借入れによる収入	60,000	85,000
借入金の返済による支出	△34,999	△82,264
自己株式の処分による収入	-	30,000
自己株式の取得による支出	-	△34,245
新株予約権の発行による収入	-	2,157
財務活動によるキャッシュ・フロー	25,001	647
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	170	△38,069
現金及び現金同等物の期首残高	112,737	112,907
現金及び現金同等物の期末残高	112,907	74,838

連結財務諸表に関する注記事項  
(継続企業の前提に関する注記)  
該当事項はありません。

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、会社分割により新たに「イメージ情報システム株式会社」を設立し、連結子会社として連結の範囲に含めております。

また、当連結会計年度において、「エクストップエスオー株式会社(現株式会社アイデポルテ)」の株式を取得し、連結子会社として連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の部門制を採用しており、それぞれ他部門や子会社と連携を取りながら事業活動を行っております。したがって、当社は部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「コンサルティング/設計/構築事業」「運用/保守事業」「商品販売事業」及び「BPO/サービス事業」の4つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主な製品・サービスは以下のとおりであります。

〔コンサルティング/設計/構築〕

- ・IT戦略の支援及びシステムの設計構築

〔運用/保守〕

- ・システムの運用及び保守の業務受託

〔商品販売〕

- ・情報通信機器、ソフトウェアの仕入及び販売
- ・パッケージソフトウェアの製造及び販売
- ・化粧品の販売

〔BPO/サービス〕

- ・集金代行業務、会員管理業務等の受託
- ・インターネット決済サービス、人材サービス等の提供

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用した会計処理の原則及び手続と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位：千円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
売上高					
外部顧客への売上高	402,353	100,539	125,786	175,607	804,286
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	402,353	100,539	125,786	175,607	804,286
セグメント利益又は 損失(△)	36,988	8,758	△19,333	20,377	46,791
セグメント資産	150,077	22,909	14,960	44,945	232,894
その他の項目					
減価償却費	1,543	6,574	415	3,459	11,993
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	2,266	595	28	580	3,470

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	コンサルティング /設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/ サービス	合計
売上高					
外部顧客への売上高	510,212	102,413	32,711	169,772	815,110
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-
計	510,212	102,413	32,711	169,772	815,110
セグメント利益又は 損失(△)	31,658	33,841	△1,772	35,770	99,498
セグメント資産	87,071	16,698	8,394	39,784	151,949
その他の項目					
減価償却費	3,392	4,170	422	2,389	10,374
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	1,253	-	1,500	1,041	3,794

4. 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	804,286	815,110
セグメント間取引消去	-	-
連結財務諸表の売上高	804,286	815,110

(単位:千円)

利益又は損失	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	46,791	99,498
全社費用(注)	△95,930	△95,063
連結財務諸表の営業利益又は営業損失(△)	△49,139	4,434

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(単位:千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	232,894	151,949
全社資産(注)	429,265	235,172
連結財務諸表の資産合計	662,160	387,122

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る資産等であります。

(単位:千円)

その他の項目	報告セグメント計		調整額		連結財務諸表計上額	
	前連結会 計年度	当連結会 計年度	前連結会 計年度	当連結会 計年度	前連結会 計年度	当連結会 計年度
減価償却費	11,993	10,374	4,287	3,277	16,281	13,652
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,470	3,794	2,440	2,874	5,910	6,668

(注) 調整額は、親会社の管理部門に係る資産の減価償却費及び増加額であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報において同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に有形固定資産を保有していないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
三菱UFJニコス株式会社	147,612	コンサルティング/設計/構築 商品販売 BPO/サービス
キャノンITソリューションズ株式会社	97,915	コンサルティング/設計/構築

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報において同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

国内の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

海外に有形固定資産を保有していないため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
エクストップテクノロジー株式会社	122,149	コンサルティング/設計/構築 運用/保守
三菱UFJニコス株式会社	86,280	コンサルティング/設計/構築 運用/保守 BPO/サービス

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント				全社・消去	合計
	コンサルティング/設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/サービス		
減損損失	—	—	—	3,549	—	3,549

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	コンサルティング/設計/構築	運用/保守	商品販売	BPO/サービス	合計
当期償却額	1,581	—	—	255	1,836
当期末残高	14,231	—	—	2,297	16,528

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

該当事項はありません。



(1株当たり情報)

項目	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
1株当たり純資産額	231円65銭	36円71銭
1株当たり当期純損失金額(△)	△153円10銭	△191円95銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。  
2. 1株当たり当期純損失金額(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△255,123	△320,302
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△255,123	△320,302
普通株式の期中平均株式数(株)	1,666,371	1,668,634

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当連結会計年度 (平成30年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	386,015	73,309
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	12,135
(うち新株予約権(千円))	(—)	(2,957)
(うち非支配株主持分(千円))	(—)	(9,178)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	386,015	61,173
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	1,666,371	1,666,271

(重要な後発事象)

当社は、平成30年4月4日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるイメージ情報システム株式会社の株式を追加取得することを決議しました。同社は、平成30年4月5日開催の株主総会において、当社を引受人とする株主割当増資と、同社代表取締役片柳依久氏に割り当てる第三者割当増資が承認されました。

①増資の概要

(イ) 増資の主な理由

イメージ情報システム株式会社の運転資金の確保

(ロ) 株式取得日

平成30年4月20日

②新株発行数及び資本金の増加額等

新株発行前発行済株式数	600株 当社保有株式数 600株
新株発行数	800株
新株発行日	平成30年4月20日
引受人及び引受株式数	当社 300株 片柳 依久氏 500株
新株発行後の発行済株式数	1,400株
払込金額	当社 15,000千円 片柳 依久氏 25,000千円
資本金増加額	40,000千円(新株発行後の資本金 70,000千円)
議決権比率	取得前の議決権比率 100.0% 取得後の議決権比率 64.3%

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	109,442	76,374
売掛金	86,432	8,779
商品	375	—
仕掛品	447	—
貯蔵品	268	286
前払費用	10,609	7,652
短期貸付金	—	4,245
関係会社立替金	—	6,172
その他	7,686	3,179
貸倒引当金	△1,693	△105
流動資産合計	213,568	106,585
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,745	2,192
工具、器具及び備品	12,650	8,305
有形固定資産合計	15,396	10,497
無形固定資産		
ソフトウェア	8,985	3,911
無形固定資産合計	8,985	3,911
投資その他の資産		
投資有価証券	62,329	62,684
関係会社株式	—	57,000
長期貸付金	399,375	405,748
関係会社長期貸付金	187,950	177,950
長期未収入金	103,895	103,895
破産更生債権等	6,930	9,580
その他	8,086	8,774
貸倒引当金	△381,215	△689,026
投資その他の資産合計	387,351	136,606
固定資産合計	411,733	151,014
資産合計	625,301	257,599

(単位:千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当事業年度 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	29,428	1,219
短期借入金	40,001	10,000
1年内返済予定の長期借入金	—	23,376
未払金	3,866	9,593
未払費用	13,144	1,413
未払法人税等	3,014	1,199
前受金	4,532	3,546
賞与引当金	26,307	6,702
その他	4,493	4,285
流動負債合計	124,789	61,337
固定負債		
長期借入金	—	17,998
退職給付引当金	125,108	124,138
繰延税金負債	1	—
固定負債合計	125,110	142,136
負債合計	249,899	203,473
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	467,050	467,050
資本剰余金		
資本準備金	510,270	4,158
資本剰余金合計	510,270	4,158
利益剰余金		
利益準備金	2,000	2,000
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△508,111	△325,422
利益剰余金合計	△506,111	△323,422
自己株式	△95,810	△96,328
株主資本合計	375,398	51,457
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4	△289
評価・換算差額等合計	4	△289
新株予約権	—	2,957
純資産合計	375,402	54,126
負債純資産合計	625,301	257,599

## (2) 損益計算書

(単位:千円)

	前事業年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)	当事業年度 (自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)
売上高	734,043	489,236
売上原価	663,448	404,325
売上総利益	70,594	84,910
販売費及び一般管理費	120,449	99,996
営業損失(△)	△49,854	△15,086
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,930	710
貸倒引当金戻入額	8,514	9,941
助成金収入	—	2,363
その他	267	531
営業外収益合計	10,712	13,545
営業外費用		
支払利息	269	686
新株予約権発行費	—	800
保険解約損	—	1,005
その他	—	6
営業外費用合計	269	2,498
経常損失(△)	△39,411	△4,038
特別損失		
固定資産除却損	7	—
投資有価証券評価損	19,950	—
貸倒引当金繰入額	188,145	315,125
減損損失	3,549	—
特別損失合計	211,651	315,125
税引前当期純損失(△)	△251,063	△319,164
法人税、住民税及び事業税	530	530
法人税等合計	530	530
当期純損失(△)	△251,593	△319,694

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	467,050	510,270	—	510,270	2,000	△256,517	△254,517
当期変動額							
準備金から剰余金への振替							
欠損填補							
当期純損失(△)						△251,593	△251,593
自己株式の取得							
自己株式の処分							
自己株式処分差損の振替							
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△251,593	△251,593
当期末残高	467,050	510,270	—	510,270	2,000	△508,111	△506,111

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△95,810	626,991	△27	△27	—	626,964
当期変動額						
準備金から剰余金への振替		—				—
欠損填補		—				—
当期純損失(△)		△251,593				△251,593
自己株式の取得		—				—
自己株式の処分		—				—
自己株式処分差損の振替		—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			31	31		31
当期変動額合計	—	△251,593	31	31	—	△251,562
当期末残高	△95,810	375,398	4	4	—	375,402

当事業年度(自 平成29年4月1日 至 平成30年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	467,050	510,270	—	510,270	2,000	△508,111	△506,111
当期変動額							
準備金から剰余金への振替		△506,111	506,111	—			
欠損填補			△506,111	△506,111		506,111	506,111
当期純損失(△)						△319,694	△319,694
自己株式の取得							
自己株式の処分			△3,727	△3,727			
自己株式処分差損の振替			3,727	3,727		△3,727	△3,727
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)							
当期変動額合計	—	△506,111	—	△506,111	—	182,688	182,688
当期末残高	467,050	4,158	—	4,158	2,000	△325,422	△323,422

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	評価・換算差額等合計		
当期首残高	△95,810	375,398	4	4	—	375,402
当期変動額						
準備金から剰余金への振替		—				—
欠損填補		—				—
当期純損失(△)		△319,694				△319,694
自己株式の取得	△34,245	△34,245				△34,245
自己株式の処分	33,727	30,000				30,000
自己株式処分差損の振替		—				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			△293	△293	2,957	2,664
当期変動額合計	△517	△323,940	△293	△293	2,957	△321,276
当期末残高	△96,328	51,457	△289	△289	2,957	54,126